

かんが えてみよう： 律令国家はなぜ崩壊した (collapsed) のでしょうか

空欄を埋めましょう！ (Fill in the blanks !)

§1 奈良時代

(1)(1) 遷都(710)

遷都: transfer of the capital

律令国家のしくみが整ってくると、政治の中心となる大きな都が整備された

→ 中国(唐)の都にならい、奈良に平城京をつくった(710)

※平城京が政治の中心だった時代を(2)とよぶ

(2) 土地制度の変遷(transition)

※律令国家の原則＝公地公民制(土地は国のもの 私有はできない)

① 田が足りなくなった → 田を増やそう！ → 開墾(新しく田を作ること)を奨励(encourage)

→ 開墾した土地は私有してよい

三世一身法(723) : 自分・子・孫まで私有できる → 孫は田を守らない → 田が荒れる

墾田永年私財法(743) : ずっと私有できる

② 有力な貴族や寺社…農民を使って私有地を広げる

→ 有力者の私有地を(3)と呼ぶ＝荘園の拡大によって律令国家は力を失う



§2 平安時代前期の政治

(1)(4) 遷都(794)

8世紀後半ごろから貴族や僧の対立が続いた

→ 天皇中心の政治を取り戻すため、都を奈良から京都に移した=(4)

※平安京が政治の中心だった時代を(5)とよぶ

(2) 藤原氏による(6)

① 平安時代になると藤原氏が大きく力をのばした

→ 天皇の代わりに政治の権力を握る

② (6)のしくみ

藤原氏一族の娘を天皇の后とし、生まれた子を天皇にする = 政治の実権を得る

→ 10世紀中ごろ…常に藤原氏が摂政・関白の役職に任命された

③ (7)の成立(10世紀ごろ)

○ 背景…中国文化の影響が少なくなる

→ 日本の自然や生活にあった文化が生みだされる

○ 内容

漢字を変形したカタカナ、ひらがな = (8)が誕生

→ (8)を使った女性による文学作品も登場



(3) (9)の登場

① 背景…地方で有力な農民や豪族が国司に対抗(10世紀ごろ)

→ 土地をめぐって互いに争う = 武芸を専門にする者は(9)とよばれる

② 武士団の形成 (例) 源氏・平氏

中央の貴族と手をむすんで勢力を広げる

書いてみよう : 律令国家が崩壊した理由をまとめてみよう